

平成 28 年 8 月 4 日

ポリプロピレン製造設備の停止について

ポリプロピレン樹脂の事業環境は、今後も中東・アジア地域での新增設が計画され、汎用品を中心とした海外品の流入による国産品需要の低迷によって、非常に厳しい状況の到来が予想されております。

日本ポリプロ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:宮坂 正之、以下「当社」)は、このような厳しい事業環境に対応するため、プラントの競争力強化と機能性ポリプロピレンの拡充により、国内の収益性を確保して参ります。この度、事業基盤の強化、合理化施策の一環として、五井工場のポリプロピレン製造設備第3系列の停止を決定すると共に、製造設備の更なる最適化を目指し設備の更新を前提としたフィージビリティスタディを実施いたします。

当社は今後とも、たゆまぬ技術開発を通じて製品の高機能化を達成し、お客様へ優れた材料を安定して提供できるよう努め、新たなマーケットへの参入を図って参ります。

記

1. 設備停止の概要

設 備 名 : ポリプロピレン製造設備第3系列(スラリー法)
工 場 所 在 地 : 千葉県市原市
生 産 能 力 : 11.6万トン/年
停止時期(予定) : 平成29年3月

以上

問合せ先 :

日本ポリプロ株式会社 総務部

TEL : 03-6748-7190